

こんにちは、薬学ゼミナールの高田直樹です。

2012年3月3・4日には、初の“6年制対応薬剤師国家試験”

が行われます。6年制薬学部に入學した皆さんは、期待と不安が入り混じっているのではないのでしょうか。特に、6年制薬学部1期生の学生さんは、期待よりもむしろ不安の方が大きいのではないですか？

不安といえば、“3.11”を思い出します。記録が残る1923年以降、私たちは国内で最大の地震、東日本大震災に見舞われ、多くの被害と決して消えることのない悲しみを体験しました(私自身もう一度、3月12日の新聞を読



み返し、その時を思い出しました)

そんな状況の中であっても必死に薬学の勉強を続けている学生さんの姿を目の当たりにすると、私たちの中にも熱いものがこみ上げてきます。勇気が湧いてきます。可能性を感じます。

また、今回の災害現場での薬剤師の職能(処方提案・公衆衛生・OTCトリアージなど)が十分に発揮されたことにより、チーム医療の一員としての薬剤師の存在が、さらに高まったと思われま

す。6年生の学生さんが薬剤師国家試験を突破し、患者さんや医療現場から『薬剤師さん、変わったねっ!』との一言にあふれてくれば、きっと全ての薬学生に



薬学ゼミナール教務部長 高田 直樹氏

も大きな勇気と可能性を届けることができるでしょう。そのためにも“6年生、一緒にがんばろう!”

薬ゼミには『いつだってチャレンジ精神を応援する!』という変わらないスタンスがあります。時代がどう移り変わろうとも、薬剤師が常に社会から求められるのは、“命の大切さを知り、高度な医療知識を持って患者さんの身体と心を癒すこと”だと思います。高みを目指し、本気で患者さんをよくするため

に情熱を注ぐ薬剤師を目指してください。

All for a patient、知識だけでなく、人と人、心と心のふれあいの大切さと尊さも、ぜひとも社会へ出る前に学んでください。はじめから完成された人など存在しません。大学生生活や勉強を通し、自分自身の成長を実現したいという志を持つ人であれば、きっと明るい未来が待っています。本気で“薬剤師になるための努力”をしている学生に、薬ゼミは寄り添い、皆さんの明るい未来への道しるべとなります。国試対策でお悩みの方は、ぜひお気軽に私たちに相談してください!

薬学ゼミナール URL <http://www.yakuzemi.ac.jp>

CROの話題

就職担当者を対象に説明会

日本CRO協会(JCROA/中村和男会長)は7月28日、都内で大学就職担当者などを対象に、CRO業界を理解してもらうための説明会を開催した。昨年引き続き2回目となる説明会では、植松尚理事長が業界の現状と今後の展望について説明したほか、CRO業務内容と求められるスキル、会員アンケートによる新卒採用状況の結果が報告された。

植松氏は、医薬品メーカーがCROに業務委託するメリットとして医薬品開発のスピードアップ、エビデンス作成補助、開発コストの削減、臨床領域や薬事関連の専門性補完、コンサルタント、中立性を挙げたが、特にモニタリング費用に関しては、メーカーの開発状況に合わせたモニター確保が可能なCRO委託によって、固定費を変動費化できることを訴えた。

また、製薬業界の将来動向を踏まえた今後の展望については、メーカーからのアウトソーシング率は上昇すると考えられるほか、国の「治験活性化5カ年計画」などにより治験は活性化すると読んでいる。一方で治験のグローバル化進展によってビジネスモデルが変化し、一層、質・スピード・コストが問われると指摘した。

協会としては、政策委員会を発足させてアウトソーシング率の向上を目指すと共に、モニターやデータマネジメント担当者の教育研修制度の充実を図り、さらに治験の効率化についても提案していく方針を示した。

6月に実施した協会会員の採用状況アンケート調査(回答20社)によると、今年入社したのは312人、来春入社予定は約330人であった。性別では女性が若干多い。卒業別では今年、修士/博士75%、4年制25%だった比率が、来年入社予定では修士



多くの就職担当者が参加した

博士が約48%、4年制が約10%、6年制薬学が約42%と大きく変化する予定だ。

また、6年制薬学部学生に対する配慮として、説明会を4月以降の土日に開催し、採用活動を遅らせたほか、面接も4月以降に実施し、個別に都合を確認して土日にも実施したことを報告した。

選考方法(複数回答)は、エントリーシート11社、書類選考6社、Webテスト4社、筆記試験9社、グループディスカッション5社、グループ面接8社、個人面接16社(平均1.9回)であった。



私たちと一緒に、未来を描いてみませんか!

首都圏での店舗展開 東京都:17店舗 神奈川県:5店舗 埼玉県・千葉県・山梨県・栃木県:各1店舗



<http://www.mikiblog.com/tabeshinbun/>



<http://www.miki.ne.jp>



人と人とのコミュニケーションを育みたい。そしてそれが大きな幹(ミキ)から伸びる枝葉のように、未来に向かって広がってほしい。それが私たちの希いです。

株式会社 メディカルファーマシー 本社:〒162-0056 東京都新宿区若松町9-12 KSビル 2F TEL 03-5368-2011 人材開発部 saiyou@miki.ne.jp 設立/昭和54年2月 資本金/5,000万円 売上高/114億円 従業員数/250名(薬剤師167名)